

# 天草高校SSH

スーパーサイエンスハイスクール

天草高校がSSH指定校になって一年が経過しました。この初年度の動きを見ていると、新しい教育機関として大きく変わろうとしている感じを受けます。それはSSHに携わる先生方の熱意と、新しい学習に取り組む学ぶ生徒たちの意欲の表れに他なりません。

SSHでは、学習指導要領によらない、学校設定科目の設置が認められています。「天草サイエンスI(ASI)」という科目が作られ、「天草学連続講義」が4月から6月までに8回の校外講師により実施されました。まず足元から、天草の風土、自然、産業などを学び、地域課題を探索



第1回天草高校SSH研究発表会

すること、研究テーマを模索するのです。なかでも、「特別記念講演会」での東京大学大気海洋研究所の横山祐典教授の話には感銘を受けた様子でした。今年度の「ASI」も始まりました。さらに「ASII」も新たに始動しています。

天草高校SSH事業には運営指導委員会があつて、事業に関する助言をしてくれます。委員のメンバーは熊本大学理学部及び教育学部、崇城大学工学部、長崎大学水産学部、鹿児島大学農学部、天草市役所、DENSO、熊本日日新聞社、熊本県教育センターの学部長や教授の9名で構成されています。第1回の運営指導委員会では「方向性について」の助言を貰いました。

8月、富岡にある九州大学附属天草臨界実験場において、1年生を対象にして、基礎実習研修を行いました。同じ夏休み中に、神戸国際展示場では「SSH生徒研究発表会」に「科学部」が参加しています。この大会は国内206校、海外25校参加の規模を誇るものでした。天草高校のポスター展示ブースにもたくさんのお見学者が訪れました。

10月、崇城大学で生徒理科研究発表会「サイエンスコンテスト2017」が開催され、「科学部」が参加しました。物理、化学、生物、地学の各部門での研究成果の発表会です。天草高校は生物部門、地学部門で4点の発表を行いました。結果、地学部門の「珪藻・花粉分析から天草の海水準変動と古環境を探る」が最優秀賞1位を獲得しました。11月以降、更に活動の場が広がります。



天草高校SSHのロゴマーク。このロゴマークを見かけたら、注目してください。

科学の甲子園熊本県代表選考会、熊本県スーパーハイスクール指定校合同研究発表会、第1回日本医療研究開発大賞記念講演会への参加。12月には有名なエバンジェリストであるマイクロソフト社の西脇氏を招いたり、長崎大学水産学部の学部長を始め各先生方とのネットでの質疑応答形式の講義、1年生による小学生対象のプログラミング講座、熊本大学で日本生物教育学会での研究発表の聴講など多岐にわたっています。そして日本最大の中高生のための学会と言われている「サイエンスキャッスル2017」に27名参加。ポスターセッションで、科学部1年生の部員が発表した「天草ゲンジボタルについて」が優秀賞(2位相当)を受賞しました。

年が明けて2月、天草市民センターに於いて、第1回天草高校SSH研究成果発表会を開催。口頭発表とポスター発表を実施しました。運営指導委員、全国の高校の先生、近隣の中学校の先生、そして保護者を招いて盛大に開催され、好評を博しました。

## 「祈りの島」天草を世界遺産へ

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は世界文化遺産登録を目指しています




一般社団法人  
**天草宝島観光協会**

〒863-0023 熊本県天草市中央新町 15-7  
TEL 0969-22-2243 info@t-island.jp